

国語科

23名参加

「言語活動の設定」や「単元構成の工夫」等について、本校の実践を交えながら提案させていただきました。授業をつくる際には、まず、どのような力を付けたいのかを明確にすることが大切です。学習指導要領で指導事項の詳しい説明や学年の系統性を確認し、その教材で何を教えるのかを理解します。その上で、子供の実態を踏まえて言語活動や単元構成を考えていくという、授業づくりの基本的なポイントをお伝えしました。課題設定や対話のさせ方、振り返りの仕方等でも子供たちが主体的に取り組めるような工夫をして、子供たちと一緒に国語の授業を楽しみましょう。



熊本県
小学校教諭

なかなか教材研究をする時間が足りませんでした。学習指導要領の要点を踏まえて、子供にとって学びのある授業をつくっていきたいと思います。



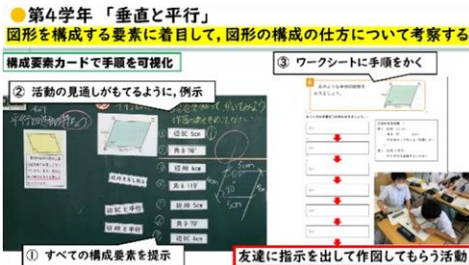
富山県
小学校教諭

振り返りの仕方が参考になりました。教科横断的な視点を忘れず、子供たちの思いを大切にしながら、授業実践をしていきます。

算数科

21名参加

図形領域で育成したい資質・能力を具体的な実践事例を交えながら確認し、授業づくりの際に意識していただけるように提案しました。図形の仲間分けの仕方や作図の仕方を論理的に考える力の育成をねらいとした数学的活動や、楽しく図形の概念理解を深め、図形の感覚を豊かにできる「図形構成説明教具」などといった教具を紹介しながら、子供たちが数学的な見方・考え方を働かせて、生き生きと学習に取り組めるようになる授業づくりの工夫について提案しました。



静岡県
小学校教諭

「構成要素カード」で手順を可視化し、自分が手順を選び、友達が図形をかくといった活動が参考になりました。



香川県
大学生

楽しみながら学ばせる工夫を聞き、勉強になりました。17個の三角形を提示して子供にやる気をもたせたり、構成要素に着目させる工夫をしたりするところも勉強になりました。

社会科

31名参加

地域教材を探する必要のある中学年の単元づくりや教材研究の仕方、授業実践について提案しました。まずは、教材研究をする際に必要となる取材の仕方について、準備物、動画の撮り方などを、具体的に提案しました。次に、第4学年の水の供給の仕組みに関する実践提案を行いました。香川県で提供されている読み物資料が授業にも活用できること、それ以上の内容は、直接取材したりインターネットを使って集めたりできることを紹介しました。子供たちが根拠をもって課題について考えをつくり、話し合う様子を授業動画でお伝えしました。



島根県
小学校教諭

教材研究の取材の際、JAの方や農家の方の意見を伺うのは大切だと感じました。教師の視点だけでは教材の可能性を狭めてしまいそうです。参考になりました。



高知県
小学校教諭

資料を活用しながら子供が意見を出していく姿を見て、課題を解決していく授業展開が参考になりました。

理科

10名参加

まず、第5学年「流れる水のはたらきと土地の変化」「物の溶け方」の実践を紹介しました。単元構成の工夫をする際に、身近な教材を取り入れることで子供が意欲的に取り組めるようにすることや、簡単に作れて、正確な結果を得られる手作り教具などを提案しました。動画では、実際に子供たちが教具を使っているところを見ていただきました。その後、新単元の第3学年「音の性質」第4学年「雨水の行方と地面の様子」第6学年「電気の性質とはたらき」の実践事例を紹介し、意見交流の場をもちました。意見交流では、参加者の先生が実践して困った実験や単元を教えてください、互いの経験を基に情報交換をしました。



香川県
大学生

子供たちに身近な地元の川を授業に取り入れることで、興味・関心を高められていると感じました。



香川県
小学校教諭

実験がうまくいかなかった時に、どう教師が対応したらよいか分かりました。個人的な相談にもものっていただき、ありがとうございました。